



明日を拓く

学校報
 令和2年 6月26日
 No.16
 美郷町立美郷中学校

■フレー!フレー!ミ・サ・ト!!練習総仕上げ

前期中間テストを終えた美郷中生が、応援練習を仕上げました。心の底から湧き上がる応援の気持ちを言葉に乗せ、さわやかで気持ちのよい、そして迫力と温かみのある応援ができる、すばらしい応援団が出来上がりました。応援団



長の1.〇〇さんはじめ応援団幹部の皆さん、ありがとうございました。校外での応援活動はできませんが、2週間後の激励会がとっても楽しみです。

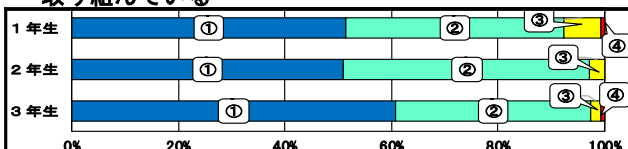
■学びを深め、「分かった、できた」美郷中生

平成2年度スタート時点の生徒の意識紹介はこれで最後です。今後、年度の途中で調査を重ねて変容を捉え、課題の改善に即時対応してまいります。

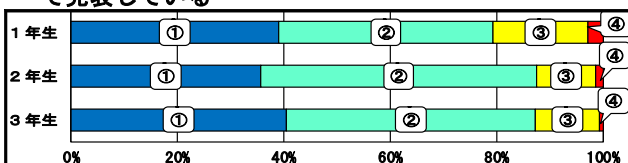
以下は、学び方や学びそのものに対する意識です。いずれも大変好ましい状況と捉えています。この姿勢を、確かな力に育てていくことが学校の使命と認識しております。

- ①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる
- ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

37 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

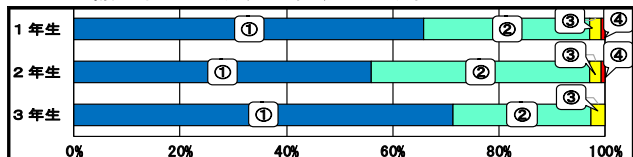


38 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している



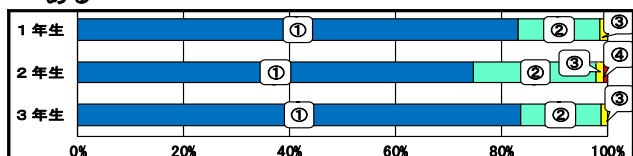
場に応じた話し方については、課題意識をもちながらも努力している姿勢がうかがえます。各教科等の学習や学級活動、そして生徒会活動や部活動など、あらゆる場面で力を付けさせたいと考えております。

39 道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

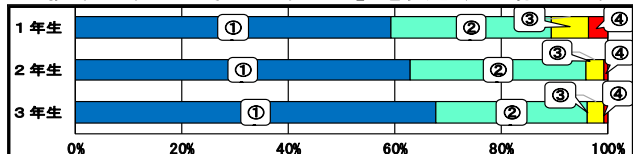


道徳の時間に積極的に望んでいる姿がうかがえます。多くの人々の考え方に触れて視野を広げることができる、これが本校の強みです。他者を尊重して思いやりの心を育み、自分に厳しく、相手には優しい、素直で賢い自己の確立に向かって努力する美郷中生を目指してほしいと願っています。

40 授業の中で「分かった」「できた」と実感する場面がある



41 授業の中で「考える楽しさ」を実感する場面がある



今年度の最重点事項です。毎日の授業で、「分かった」から「できた」までを、一人一人が確実に実感できることを目指しています。そして、それが試験などの実力発揮の場面で、確実に発揮できるようにすることを目標に取り組んでいます。

■郡総体開催実現にご協力をお願いいたします

新型コロナウイルスの猛威のために開催が延期となった大会です。7月開催の条件は、「大曲仙北管内の小・中学校に感染による休校措置がない」ことです。県外移動自粛などが緩和され、感染第2波発生が懸念されています。

つきましては、これまで同様にお子さんやご家族の健康管理にご留意くださるとともに、遠隔地への移動等につきましてもご配慮をお願いいたします。このことは、管内の全小・中学校へ同様のお願いをしているところです。地域を挙げて開催実現にご協力を賜るよう切にお願い申し上げます。

また、観戦入場規制等にも、趣旨をご理解の上、どうかご協力をお願いいたします。

